

第3期の振り返り

- 登下校の見守り、要援護者支援、サロン・食事会、安心カード普及、小・中学生ボランティア活動など、地域を支える様々な活動が定着した。
- 連合会、町内会・自治会の行事も盛沢山で、地域住民の貴重な交流と研鑽の場となっている。

2020年コロナ禍における活動

- 昼食会は配食での健康状況確認、サロンは少人数・回数増で対応。
- 防災訓練は役員のみで実施し、コロナ環境下想定での実践研修。
- 敬老会、クリスマス会等は中止、祝い品・プレゼントを戸別配布。などなど、新たな経験の1年でした。

地域福祉保健施設の分布



施設リスト

子ども施設

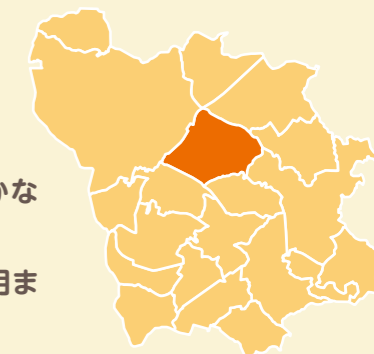
- ◆ 認可保育所
- ① 横浜市立今宿保育園
- ◆ 幼稚園
- ② 今宿幼稚園
- ③ 清来寺幼稚園

高齢者施設

- ◆ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
- ① フレンドィ都岡
- ② ふあいとパティオつくいけ
- ◆ 介護老人保健施設
- ③ けいあいの郷今宿
- ◆ 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)
- ④ シルバーライフはなみずき

第4期 きらっとあさひプラン

今宿 地区

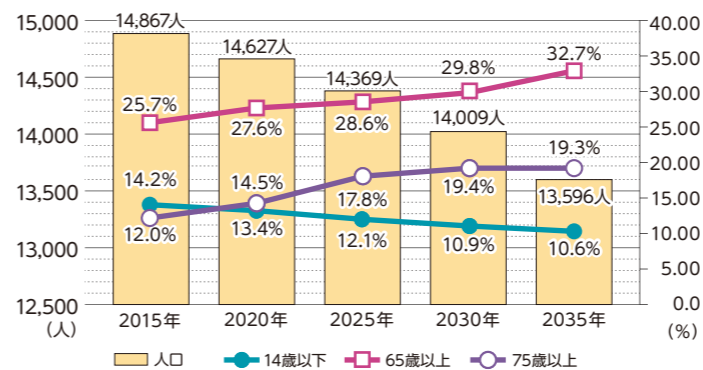


今宿地区は、区の中央に位置し、帷子川を軸とする南北に広がる緑豊かな丘陵地域です。区域の真ん中を国道16号と帷子川が通っています。帷子川の旧河川は帷子川緑道として整備が進められており、令和2年4月までに完成した区間(420m)は住民の新たな憩いの場となっています。

DATA

将来人口推計

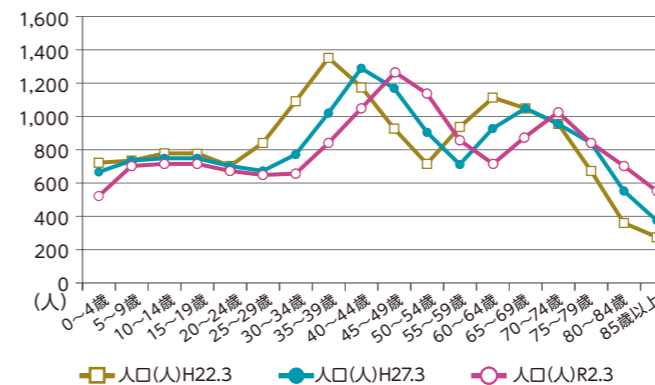
出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁別世帯と男女別人口」(各年3月末現在)



将来人口推計は、今後も減少が推測され、65歳以上の比率は2030年以降に30%を超えます。14歳以下の比率は、2030年に10%台になることが推測されます。

年齢5歳別人口の動向

出典：横浜市統計ポータルサイト(各年3月末現在)



平成22年には35～39歳であった5歳別人口数のピークは、令和2年には45～49歳となっています。また、平成22年・27年に比べて年少人口は減少、70歳以上の5歳別人口は増加しています。65歳以上の高齢者の割合は、平成27年には25.7%、令和2年には27.6%となり、高齢化が進んでいますが、区平均の29.2%はやや下回っています。

人口、世帯数、年齢別人口等の動向

	H22	H27	R2	H22～R2 増減数	H27 構成比(%)	R2 構成比(%)	R2 区平均 構成比(%)
総人口(人)	15,168	14,867	14,627	▲541	100.0	100.0	100.0
0～14歳(人)	2,252	2,117	1,967	▲285	14.2	13.4	11.6
(内0～6歳)(人)	990	962	805	▲185	6.5	5.5	4.9
15～64歳(人)	9,625	8,936	8,626	▲999	60.1	59.0	59.2
65歳以上(人)	3,291	3,814	4,034	▲743	25.7	27.6	29.2
(内65～74歳)(人)	1,971	2,024	1,913	▲58	13.6	13.1	13.2
(内75歳以上)(人)	1,320	1,790	2,121	▲801	12.0	14.5	16.0
総世帯数(世帯)	6,386	6,426	6,652	266	-	-	-
平均世帯規模(人/世帯)	2.38	2.31	2.20	▲0.18	-	-	2.13

出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁別世帯」、「町丁別年齢別男女別人口」(各年3月末現在)

※人口・世帯数の数値は町丁目単位での集計のため、町丁目地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。

私たちが描く地区の未来図

『笑顔で支え合い、安心して暮らすことのできるまち今宿』

これまで築いてきた活動成果を基盤として、地域住民全員参加型の笑顔でお互いに支え合い、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

目標と主な取組

目標 A 子ども・高齢者の見守りネットワークづくり

- ④ 学童の登下校見守り活動の継続
 - ▶ PTAの協力も得ながら、活動の一層の強化を図ります。
- ④ 独居高齢者、要援護者への支援・見守りの推進
 - ▶ ご近所同士の見守りも進めながら、サポートを強化します。
- ④ 地域のサポーターが高齢者・要援護者のちょっとした困りごとをお手伝いする「チョットお手伝い」活動の継続
 - ▶ チョットお手伝い活動を更に活発にします。
- ④ 昼食会や配食、サロン開催による高齢者の交流
 - ▶ サロン間の交流、ノウハウの共有化を図り、一層充実した活動にします。



▲登下校見守り



▲サロンでの楽しいひと時

目標 B 安心して暮らすことのできるまち今宿

- ④ 「こまった時のあんしんカード」配布継続
 - ▶ 外出先で万が一の怪我や病気に見舞われた際、周囲の人の手助けを受けて救命率アップにつなげます。(対象：70歳以上の町内会・自治会加入者)
- ④ 防災、防犯体制の強化
 - ▶ 連合防災訓練、地域防災拠点訓練の継続に加え、組単位程度の小グループによる『互近助』助けあい組織づくりに取り組みます。
 - ▶ おさんぽパトロールなど、犯罪に強いまちづくり活動に住民全員で取り組みます。
- ④ 町内会加入促進、広報活動
 - ▶ 連合会共有の案内資料として『町内会・自治会へのお誘い』を作成します。
 - ▶ 回覧板、「今宿地区だより」など活用し、地域活動を広くお知らせします。



互近所
助け合い

目標 C 住民同士の交流促進

- ④ 連合会行事、町内会自治会行事の継続的な企画・実施
 - ▶ SNSを活用し学生の参加を募るなど、幅広い世代間の交流を図ります。
 - ▶ 学校、PTA、地区青指とも連携し、小・中学生の訓練参加者を増やします。
- ④ 町内会自治会の役員・担い手の育成
 - ▶ あらゆる世代が負担を感じず参加できる町内会活動のしくみ・体制づくりを進めます。
- ④ ジュニアボランティア・中学生ボランティア活動の継続・強化
 - ▶ 地区行事での活動に加え、サロンへの参加など活躍の場を広げます。



目標 D 環境美化活動の推進

- ④ ゴミ集積所維持・管理
 - ▶ ゴミ出しルールの再徹底を行います。
 - ▶ 町内会自治会以外の住人に対してもルール厳守の周知活動を行います。
- ④ 帷子川緑道の定期的な清掃活動実施
 - ▶ 帷子川緑道の愛護会を中心に、定期的な清掃活動を行います。
 - ▶ 清掃活動を通じ、地域住民の親睦を深めると共に、環境意識の高揚を図ります。



▲帷子川緑道清掃

今宿地区の主な行事



どんど焼き(1月)



防災訓練(6月)



盆踊り大会(7月)



レクリエーション大会(10月)

お楽しみ
いっぱい!

- さくらまつり(4月)
- 福祉の集い(11月)
- 演芸大会(9月)
- 福祉講演会(9月) 他、
- 輪投げ大会(2月)

推進体制

今宿地区地域支えあい連絡協議会…

地区社会福祉協議会、町内会・自治会、民生委員・児童委員、スポーツ推進委員、青少年指導員、環境事業推進委員、家庭防災員、消費生活推進委員、保健活動推進員、老人会、ボランティアグループ